

2021 年度第 19 回理事会 議事要旨

- 1 開催日時 令和 4 年 8 月 27 日（土） 13：00
- 1 開催場所 東京都新宿区霞ヶ丘町 4-2
Japan Sport Olympic Square 会議室 3
- 1 理事総数 19 名
- 1 出席理事 18 名
武井 壮、青木 雄介、浅井 直樹、飯田 徳光、小笠原 悦子、岡本 純典、
釜谷 理恵、蕭 敬如、末松 英司、須賀 千鶴、菅原 智恵子、杉山 文野、
辻村 眞一郎、土肥美智子、鳥山 聡子、村上 幸生、諸江 克昭、
横井 浩治
- 1 出席監事 1 名
清水 至

【審議事項】

第 1 号議案 利益相反取引の承認の件 (提案者) 理事 釜谷理恵
議長は、上記議案について釜谷理事より提案があった旨述べ、同理事に説明を求めた。慎重審議の結果、全会一致で承認可決した。

第 2 号議案 強化本部合宿ガイドライン策定の件 (提案者) 理事 青木雄介
議長は、上記議案について青木理事より提案があった旨述べ、同理事に説明を求めた。慎重審議の結果、下記のとおり全会一致で承認可決された。審議の経過は以下のとおりである。

質問：8 月中旬に国内合宿を実施したと思うが、このときの合宿内容等の報告は適切に実施されたのか。

回答：現地から映像、画像も含めてタイムリーに状況の報告があった。

第 3 号議案 マーケティング・PR 部会長の件 (提案者) 理事 浅井直樹
議長は、上記議案について浅井理事より提案があった旨述べ、同理事に説明を求めた。慎重審議の結果、下記のとおり全会一致で承認可決された。

【協議事項】

第 4 号議案 高円宮杯開催の有無の件 (提案者) 理事 辻村眞一郎
議長は、上記議案について浅井理事より提案があった旨述べ、同理事に説明を求めた。協議の結果、まず全国の支部に対して協賛へのご協力の可能性をリサーチし、その結果を踏まえて開催可否を検討することになった。協議の経過は以下のとおりである。

意見：高円宮妃殿下とは逐次連絡をとっている。

意見：海外の大会における感染症対策は、だいぶ緩和されている。強化の観点では大会は開催したいが、その他の面での慎重な検討が必要だと理解している。

意見：いくつかの企業からフェンシングに対して厳しい意見をいただいている。フェンシング関係者のかたの自主的な取り組みとして開催が可能だろうか。開催にあたっての良いアイデアがあればいただきたい。

意見：世界の中の我が国の位置づけの面で考えると、開催をすべきであるということには異論がないのではないか。フェンシングに関係するみなさんに理解をしていただき、ご協力をいただくことを考えてはどうか。

質問：全国の会員にアクセスし依頼をすることは可能か。

回答：個別の登録会員にアクセスするのは難しい。都道府県支部に依頼することは可能である。

質問：全日本個人戦の開催には問題ないのか。

回答：全日本個人戦の協賛を集めることにも苦労しているのは確かである。

意見：全日本個人戦については経費の見直しを進めていることと、協賛をいただけそうな企業ができたことから何とか収支均衡になる見通しである。

高円宮杯については、外部企業からの協賛は厳しい現状があり、フェンシング界内部からの協力が必要である。フェンシング界で掘り起こしができるとうい。

意見：フェンシング関係者である理事全員が全国の支部等への声かけ等に取り組むべきである。

意見：こういうときほど全国のフェンシングに携わるかたに、寄付をお願いし、相互の連携、協力の場をつくる等を考えてはどうか。

意見：本日、高円宮杯開催可否を判断するのは難しい。全国のかたに連絡をとることに協力をしていただけないか。この場ではなくてよいので、理事会終了後でよいので協力していただけるかたは連絡をいただきたい。まずは、全国のかたに声をかけしてご協力が得られそうかお伺いしたい。その後に開催可否を判断することとしたい。このとおりに進めることでよいか。

意見：賛成。

【その他】

1 新たな日本代表ウェアについて (提案者) 理事 青木雄介

【報告事項】

1 世界選手権の結果について (提案者) 理事 青木雄介

2 職員採用について (提案者) 理事 浅井直樹

3 四半期報告について (提案者) 理事 浅井直樹

4 誤処理対応の件 (提案者) 理事 浅井直樹